

2024_0228「夕陽の花粉光環（写真）」日々の理科 3492号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

関東平野のスギ花粉の飛散は、雨の後の晴れた日に、それも西風（西から吹いてくる風）が強い日に多くなる傾向があります。しかしそれは、必ずしも真昼が一番多いとも限りません。気象条件によっては、午後になって飛散が多くなり、夕方がピークという場合もあります。一昨日（2月26日）はその例だったようです。

私は午後になって花粉光環の出現に気づきましたが、夕方のほうがより強く見えたように思います。写真はもう「夕陽」といえるような時間帯でしたが、太陽本体（光球）を樹木や建物で遮蔽すると、肉眼でもはっきり見えました。写真を撮る場合も、夕方の太陽高度が低い時間帯のほうが、遮蔽する地上物が多く、撮影しやすいように思いました。

スギ花粉は実に厄介な嫌われ者ですが、花粉光環は実に神秘的で美しい大気光学現象です。地上物はシルエットになるので「どんな場所で」「太陽を何で遮蔽するか」を研究して、ちょっと芸術的な写真を撮ってみたいです。

（2024年2月下旬／文京区小石川四丁目）

